

## 追悼：幅勇雪先生

幅先生は旭丘高校を卒業後1958年4月に早稲田大学教育学部社会学科に入学され、そして2年後の1960年には、商学部編入、1963年に大学院商学研究科に入学し1965年に修了。その後、監査法人芹沢会計事務所、監査法人トーマツを経て、1969年には公認会計士の資格を取得・登録後、1971年には幅勇雪公認会計士事務所を開設されて独立されました。そして、1985年より日本公認会計士協会東海支部の経理部長、総務部長を歴任した後、1989年より日本公認会計士協会愛知県会長、公認会計士協会の副会長を歴任されました。

公認会計士としての仕事は最近十六銀行との合併で話題を集めた岐阜銀行に対して、政府借入金の返済問題など企業の倒産にかかわる重要事項を回避すべく指導されました。さらには包括外部監査人の立場で、公共事業として行なわれている徳山ダム(岐阜県藤橋村)などに対しては、大胆な事業変更の必要性を説くなど、まさに日本の重大な懸案事項を常に取り扱ってられました。そして、このような活躍が認められ、2009年旭日小綬章の叙勲を受けられておられます。

朝日大学には1991年より経営学部教授として赴任され、19年の長きにわたって学生の指導をしてられました。公認会計士として様々な企業を監査指導してきた社会経験を生かし、これから社会に出て活躍しなければいけない学生に対し適切な指導を行い、多くの学生より尊敬の念を集めました。そして、朝日大学卒業生を幅公認会計士事務所に就職させ会計士への指導を行うなど、学生の面倒見は徹底しておられました。

一度、幅先生にお名前由来をお聞きした所、お父上が勇、お母上が雪でその子供なので勇雪という名前になったとのことでした。なる程、幅先生の穏やかな性格は、このようにご両親の愛情の結晶、期待を一身に集めそれに応えた方であると改めて感心をいたしました。関係する人、知り合った人、全ての人に好感を持たれた幅先生がお亡くなりになったことは残念でなりません。最近ではタバコも止められ健康には気をつけておられたのに・・・。謹んでお悔やみを申し上げます。

國澤英雄（経営学部経営学科長）

## 稲吉先生を偲ぶ

稲吉先生は1993年3月愛知県立豊丘高等学校を卒業し、同年朝日大学経営学部情報管理学科に入学されました。そして、1997年に卒業後、同年に朝日大学大学院経営学研究科博士前期課程入学、1999年修了、同年同大学院博士後期課程に入学し、2002年には修了し、同年博士（情報管理）が授与されました。

稲吉先生は、博士前期課程より元朝日大学教授で世界的な品質管理、品質機能展開（QFD）の権威で著名な赤尾洋二博士のご指導を受けられ、特にQFDの分野で頭角を現してられました。そして、博士前期課程では「図書館サービスに関する品質機能展開の適用・サービスに関する研究」、博士後期過程では「サービス業の品質に関する品質機能展開に関する研究」と短期間の間に品質機能展開の分野での深化を図り、この分野の権威として日本中でその活躍に注目が集まりました。

その一方で、日本科学技術連盟が主催する「品質機能展開セミナー入門コース」講師、名古屋で開催される「品質機能展開実践コース」講師を歴任し、かつ品質機能展開国際会議などにも積極的に出席するなど幅広く活躍し、日本をはじめ世界中への品質機能展開の発展と普及に尽くしてられました。

朝日大学大学院経営学研究科修了後に、朝日大学経営学部経営学科常勤講師に就任し学生の指導に尽力をされてされましたが、稲吉先生の指導は、そのまじめな性格が現れ、ゼミの時間にこだわらず、また自分の研究も省みず、論文として形ができるまで、学生の力を十分引き出し指導するという熱心なものでありました。また学生には品質管理の資格を目標として勉強した方が実力が付くと考え、授業の終わった後で、ゼミの学生を個別に招き、個人指導を行なっておられました。学生も稲吉先生の熱心な教育姿勢に感化され、次第に授業以外でも先生の研究室に行き指導を受けるようになっておりました。このように朝日大学に新風を起こし、学生のために心血を注いだ朝日大学の至宝とも言える稲吉先生を亡くしたことは痛恨の極みであります。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

國澤英雄（経営学部経営学科長）